

働く世代の健康づくりについて（令和6年度の取組み）

1 健康づくり県民運動の強化

熊本県では、すべての県民が生涯を通じて健やかで心豊かに生き生きとした生活を送ることができるよう、県民代表、関係機関・団体、学識経験者、行政などが一体となった44団体で「健康づくり県民運動」に取り組んでいる。



新たな取組み

- ①スローガン・キャッチコピー・ロゴの作成・周知
 - ・新聞や市電の中吊り広告、Instagramのカルーセル広告などWEB広告を実施
- ②ホームページによる情報発信
 - ・市町村や団体の健康づくりに関するイベント情報等の掲載
 - ・県の取組みの掲載 等
- ③健康づくりのイベントを開催:令和7年2月9日(日)
 - 【健康づくり県民フォーラム 2024】@パレア
(オンライン・現地 約250名参加)
 - ・県民会議表彰及び表彰団体による事例発表
 - ・セミナーの開催
 - 【健康づくり県民横丁】@下通アーケード
(延べ約3300名来場)
 - ・企業・団体によるブース出展(20ブース)により、健康情報を発信
 - ・出展者同士の情報交換やマッチングによる新たな事業展開の創出
- ④顕彰制度による健康経営の普及
 - ・熊本県健康づくり県民会議表彰「健康経営、健診・がん検診部門」の実施
表彰団体数：3団体

健康のための6つの取組み



2 くまもとスマートライフプロジェクト普及啓発 ※裏面参考

(1)広報プロモーション

- ・特設サイトによる情報発信 「くまもとスマートライフプロジェクト2024」
<https://kumamoto-smartlife.jp/>
- ・イベントの他、過年度作成の動画や野菜レシピ等も掲載
- ・併せて熊日新聞、すぱいす、WEB広告を実施

(2)ウォーキングの推進

- ①ウォーキングキャンペーン(10~11月)
 - ・くまもとスマートライフアプリ(歩数計アプリ)を使ったキャンペーン
 - ・例年、個人戦と団体戦を実施
- ②熊本リレーマラソンとコラボ:スポーツ体験ブースの設置やスタンプラリーを実施
- ③RKKまつりにブース出展:10月5~6日に花畑広場一帯で開催されたRKKまつりにブースを出展



(3)プロジェクト応援団

- ・登録数 2,604 企業・団体 (R6.11 月末現在)
- ・応援団特典として、プロジェクトロゴの使用 (別途手続き要)、啓発グッズの配布、イベント (オンラインセミナー等) 紹介、県民横丁への出展、など
- ・スマートライフプロジェクト応援団への「登録証」の作成、配布を実施

(4)健康経営の推進

- ①健康経営オンラインセミナー (12月)
 - ・NPO 健康経営研究会副理事長 平野治氏による講演 ※オンラインセミナー
- ②優良事業所取組み事例紹介
 - ・健康づくり県民会議の表彰を受けた4社の記事を熊日新聞に掲載、YouTube 動画公開
- ③その他
 - ・県と協会けんぽ熊本支部：協会けんぽヘルスター認定 (3つ星) の連名で健康経営優良事業所認定

(参考)

「くまもとスマートライフプロジェクト」とは

- ・県では、平成26年7月から「第3次くまもと21ヘルスプラン (熊本県健康増進計画)」の一環として、県民の生活習慣を改善し健康寿命をのばすことを目的に「くまもとスマートライフプロジェクト～みんなで健康寿命をのばそう!～」(※。以下「プロジェクト」という。)を展開。
- ・プロジェクトでは、「健康寿命をのばすための6つのアクション」-①適度な運動、②適切な食生活、③禁煙、④健診やがん検診受診、⑤歯と口腔のケア、⑥十分な睡眠-の実践を推進。
- ・プロジェクトの趣旨に賛同し、従業員等の健康づくりや県民への情報発信に取り組む企業・団体を「くまもとスマートライフプロジェクト応援団」として募集。